

社会資本総合整備計画

事後評価書

平成27年9月14日

計画の名称	7 秋田市における災害に強い安全で安心な道路交通社会に対応したまちづくり			交付団体	秋田市			
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）							
計画の目標	秋田市地域防災計画に指定されている緊急輸送道路の無電柱化の推進及び、市中心市街地と市郊外とを結ぶ道路整備を行うことによる地域間アクセス強化と併せて、市民生活に直結した生活道路の整備改良を行い、安全で安心な道路交通社会を形成する。また、冬期の安全な通行のための対策が実施された区間の割合を増やして、通行車両及び歩行者の安全確保を図る。							
計画の成果目標（アウトカム指標）								
<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路の無電柱化率 市中心市街地への20分到達可能面積の割合 								
アウトカム指標の定義及び算定式								
				アウトカム指標の現況値及び目標値				
				当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考	
				(H21当初)	(H23末)	(H25末)		
・緊急輸送道路の市道であるものの総延長のうち無電柱化（電線共同溝整備）された延長の割合 （無電柱化率）＝（Σ（緊急輸送道路のうち市道の電線共同溝整備路線延長））／（緊急輸送道路のうち市道の総延長16.1km）				15.0%	19.0%	23.0%	平成25年度に防災・安全交付金が新設され、インフラ再構築（老朽化対策、事前防災・減災対策）および生活空間の安全確保のための要素事業について、社会資本整備総合交付金から防災・安全交付金に移行し事業実施することとなり、上記交付金区分にあわせて整備計画を分割した経緯がある。 アウトカム指標は当初整備計画の策定時に設定したものであり、実績値の算定にあたり、社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金それぞれの整備計画において、共通としている。	
7-A4	要素事業	当初現況値	中間値	最終値				
	秋田環状1号線				実施			
	電線共同溝整備延長(※1)	—	1.20km	1.20km				
	電線共同溝整備路線延長(※2)		0.59km	0.59km				
	無電柱化率		3.7%	3.7%				
7-A5	要素事業	当初現況値	中間値	最終値				
	川尻広面線ほか				実施			
	電線共同溝整備延長(※1)	—	0.60km	1.20km				
	電線共同溝整備路線延長(※2)		0.30km	0.60km				
	無電柱化率		1.9%	3.7%				
	電線共同溝整備延長(※1)	—	1.80km	2.40km				
	電線共同溝整備路線延長(※2)	2.42km	3.31km	3.61km	総延長 16.10km			
	無電柱化率	15.0%	20.6%	22.4%	(緊急輸送道路市道総延長)			
(※1)電線共同溝整備延長とは、電線共同溝を整備する両側の歩道延長となっていることから、電線共同溝整備路線延長×2(両側歩道分)								
(※2)電線共同溝整備路線延長とは、電線共同溝を整備する秋田市道の延長								
・実地走行調査により秋田市中心部から20分以内の到達面積を測定し、全体面積に占める割合を算出する。 （20分到達可能面積の割合）＝（現地走行調査による市中心部から20分以内の到達面積）／（秋田市の面積：906.09km ² ）				13.0%	15.0%	16.9%		
					13.0%	13.4%	14.0%	
7-A1	要素事業	当初現況値	中間値	最終値				
	南部中央線（茨島工区）				実施			
	整備済み延長	—	0.60km	0.60km				
	到達可能面積(※3)		2.00km ²	2.70km ²				
7-A2	要素事業	当初現況値	中間値	最終値				
	割山南浜線				実施			
	整備済み延長	—	0.30km	0.60km				
	到達可能面積(※3)		1.00km ²	2.70km ²				
7-A8	要素事業	当初現況値	中間値	最終値				
	新屋扇町渋谷町線ほか（新屋扇町渋谷町線工区）				実施			
	整備済み延長	—	0.00km	0.30km				
	到達可能面積(※3)		—	1.35km ²				
7-A9	要素事業	当初現況値	中間値	最終値				
	仁井田小中島線ほか（仁井田小中島工区）				実施			
	整備延長	—	0.30km	0.50km				
	到達可能面積(※3)		1.00km ²	2.25km ²				
	整備済み延長	計	0.00km	1.20km	2.00km			
	到達可能面積(※3)	計	117.7km ²	121.7km ²	126.7km ²	906.09 km ²		
	到達可能面積率(※4)	計	13.0%	13.4%	14.0%	(秋田市の面積)		
(※3)到達可能面積とは、秋田市中心市街地活性化基本計画区域内のほぼ中心部に位置する秋田県立美術館付近から放射状に実地走行調査を行い、その平均到達距離を半径とした面積								
(※4)到達可能面積率とは、秋田市の面積906.09km ² に対する到達可能面積の割合								

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,080 百万円	A	1,080 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%							
○ 事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制			事後評価の実施時期				公表の方法										
秋田市			平成27年9月				秋田市ホームページ										
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 地方道路整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考 (国庫)
											H21	H22	H23	H24	H25		
7-A1	道路	一般	秋田市	直接		市道	改築	(1) 南部中央線(茨島工区)	バイパス L=0.6km バイパス L=0.6km	秋田市						134 134	(73.70)
7-A2	道路	一般	秋田市	直接		市道	改築	(1) 割山南浜線	現道拡幅 L=0.6km 現道拡幅 L=0.6km	秋田市						540 421	(231.55)
7-A8	道路	一般	秋田市	直接		市道	改築	(1) 新屋扇町渋谷町線ほか	踏切拡幅 L=0.3km 踏切拡幅 L=0.3km	秋田市						500 500	(275.00)
7-A11	道路	一般	秋田市	直接		市道	改築	(1) 大浜上新城線	バイパス L=0.6km 事業未着手	秋田市						300 0	(0.00)
7-A17	雪寒	一般	秋田市	直接		市道	除雪	(1) 本田妙法線ほか	除雪 L=194.8km 除雪 L=194.8km	秋田市						30 25	(13.75)
合計											1,474 1,080	(594.00)					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H21	H22	H23	H24	H25			
																0	
合計											0						

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H21	H22	H23	H24	H25		
7-C4	計画・調査	一般	秋田市	直接		計画・調査	事業効果検証業務	事後・中間評価 平成27年度実施	秋田市						10 0	(0.00)
合計											10 0					
番号 一体的に実施することにより期待される効果												備考				
7-C4	地域活力基盤創造計画の成果目標について、中間評価、事後評価を公表するため、必要な調査および資料取りまとめを行うものである。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 7-A4事業において、電線共同溝L=1.2kmの整備を完了し電線管理者が入溝、電柱の撤去を完了。 7-A5事業において、電線共同溝L=1.2kmの整備を完了した。これらの事業により、市道の緊急輸送道路総延長L=16.1kmのうち、電線共同溝整備路線延長L=3.61kmが完了した。 7-A1事業においてバイパスL=0.6km、7-A2事業において現道拡幅L=0.6kmの整備が完了した。これらの事業により秋田市大住地区と茨島地区を経由し新屋地区を結ぶ全区間L=1.2kmの工事が完了し、供用開始した。 									
II 定量的指標の達成状況	緊急輸送道路の市道であるものの総延長のうち無電柱化(電線共同溝整備)された延長の割合	最終目標値	23.0%	目標値と実績値に差が出た要因	7-A5事業において、地下埋設物等支障物件の移設に想定した以上に期間を要したことから、当初の目標どおりの進捗が図れなかったことによる。						
		最終実績値	22.4%								
	実地走行調査により秋田市中心部から20分以内の到達面積を測定し、全体面積に占める割合を算出する。	最終目標値	16.9%	目標値と実績値に差が出た要因	7-A9事業において、用地買収等の遅れにより、当初の目標どおりの進捗が図れなかったことによる。						
		最終実績値	14.0%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		7-A9事業において、橋りょう架替整備を完了した。これにより秋田市雄和地域と秋田市御所野地域の地域間アクセスが向上した。									
3. 特記事項(今後の方針等)											
平成21年度から開始した本計画により、本市は災害に強い安全で安心な道路交通社会に対応したまちづくりを目指し、市中心市街地と市郊外とを結ぶ道路整備を行うことによる地域間アクセス強化、老朽化した橋りょうの架け替え、市民生活に直結した道路整備や修繕等を推進してきたところであるが、引き続き、第二期計画(H26~H30)においても、地域間交通アクセス強化を行うとともに、道路ストックを賢く活用し効率的な維持管理・更新の実施、更には、子育て、高齢化に対応した安全な道路空間の創出、橋りょうを始めとする大規模修繕・更新事業などを推進し、粘り強くしなやかなまちづくりを行っていく。											